



東京マラソン 2014 チャリティ“つなぐ” 申込み状況について

一般財団法人東京マラソン財団は、「東京マラソン 2014 チャリティ“つなぐ”」において、寄付金とチャリティランナーを7月1日（月）から募集しています。今回は、同日より募集を開始した「チャリティ・サポートシステム【Run with Heart（ランウィズハート）】」を利用してチャリティランナーにチャレンジするランナーも既に登場しています。

つきましては、現在のチャリティ申込み状況について下記の通りお知らせいたします。

9月2日午前10時現在

■ 寄付金総額（寄付のみも含む）	4776 万 2500 円
■ チャリティランナー申込者総数	400 人／定員 3,000 人（先着）

※うち、個人での申込み 332 人、法人での申込み 68 人（法人のお申込は7月22日より受け付けています）

※チャリティランナー申込者とは、参加料・寄付金の入金が確認された方です。

※Run with Heart でお申込みされてチャリティランナーとして確定された方も含みます。

【チャリティ・サポートシステム【Run with Heart】の申込状況】

■ ファンドレイザー 39 人（うち、チャリティランナー確定数 11 人）

※ファンドレイザーとは、寄付を呼びかけて寄付金を集める人の呼称です。

■ サポーター 234 人

※Run with Heart の詳細につきましては、公式サイト（<http://runwithheart.jp/>）をご確認ください。

○チャリティランナー申込みは、下記公式ホームページにて11月15日（金）午後5時まで受け付けています。（定員になり次第、締め切ります。）

○寄付金のみに関しては、平成26年3月31日（月）午後5時まで受け付けています。
詳しくは、東京マラソン 2014 チャリティ“つなぐ”ホームページまで

<http://www.tokyo42195.org/2014/charity/>

■ チャリティ・サポートシステム【Run with Heart】について

ファンドレイザーがサポーターとなる家族・知人に寄付への協力を呼びかけ、寄付先事業を支援する仕組み。

寄付金総額が10万円以上の場合、チャリティ活動をアピールしていただくため、東京マラソン 2014 にチャリティランナーとして参加することができます。※ファンドレイザーとは、寄付を呼び掛けて寄付金を集める人の呼称です。

2013 大会は 1,294 人のシステム利用者、138 人のチャリティランナーが誕生しました。

※参考 サイト URL : <https://www.runwithheart.jp/>（2013 年 7 月 1 日午前 10 時よりオープン）

【参考資料】

Run with Heart 利用者の意気込みコメント抜粋

磯野さん 男性（寄付先：公益財団法人スペシャルオリンピックス日本）

知的障害のある方へチャレンジの場を！

知的障害のある人たちに年間を通じて、さまざまなスポーツトレーニングと競技の場を提供し、健康を増進し、勇気をふるい、喜びを感じ、家族や地域の人々と、才能や技能そして友情を分かち合う機会を継続的に提供しています。是非、あなたの力を貸してください！

石垣さん 男性（寄付先：東日本大震災復興支援事業）

Run for those affected by 2011 quake

震災のときには海外にいたため、何もできずもどかしい思いをしました。少しでもお役に立てるように、まずは身近なことから始めます。

Will help the affected people in my own humble way: through running.

2014 大会チャリティランナー申込み者のコメント抜粋

東京都 男性 56 歳（寄付先：認定 NPO 法人ファミリーハウス）

自分が元気で走れる喜びを沿道の応援の皆さんと分かち合いたい。毎日病気で苦しむ多くの患者さんと向き合っている自分がマラソンを走りきることに、患者さん、それを支えるご家族に勇気と希望を与えたい。

東京都 男性 47 歳（寄付先：公益財団法人そらぶちキッズキャンプ）

今回でチャリティ出場 4 回目。最初は気恥ずかしさ戸惑いもありましたが、今は胸を張って出場できるようになりました。寄付金で、みんなが幸せになれるお手伝いができればと願っています。

岐阜県 男性 63 歳（寄付先：公益財団法人日本障害者スポーツ協会）

今年一般エントリーで参加させていただきました。そこで、皆さんが色んな想いを背負って走っているのを知って私も来年はチャリティランナーとして参加したいと思いました。

岩手県 男性 45 歳（寄付先：公益財団法人スペシャルオリンピックス日本）

岩手沿岸部の特別支援学校で働いている者です。岩手を支援してくれた皆さんへの感謝とスペシャルオリンピックスで活躍する選手たちの笑顔を応援させていただきます。

新潟県 男性 50 歳（寄付先：東日本大震災復興支援事業）

先日被災地の状況確認も兼ねてバイクで東北一周してきました。津波の高さと被害の大きさに茫然としてしまいました。震災復興に寄付したいと思います。

山口県 男性 49 歳（寄付先：公益財団法人東京防災救急協会）

東京マラソンにはチャリティランナーとして出場するだけの価値が十分にあると思います。走ることを通して少しでも社会に貢献したいと思います。

東京都 男性 30 歳（寄付先：公益財団法人東京都スポーツ文化事業団）

これからの東京、そして日本を背負っていく次の世代への想いを込めて走ります。

三重県 男性 65 歳（寄付先：公益財団法人山梨県緑化推進機構）

全国的に木材の需要が少なくなったり、林業従事者の高齢化が進む中、森林の健全化を願っています。

東京都 男性 74 歳（寄付先：公益財団法人東京都農林水産振興財団）

山林への人の手の介入が減少していることによる荒廃を何とか減少させたい。昔、野山で遊んだ頃の山の自然を若い人たちに楽しんでもらえるように、近いところから手をつける。

■寄付先に難病の子どもを支えるドナルド・マクドナルド・ハウスの建設と運営事業が加わりました。

病気と闘う子ども達と、その家族が近くいられるよう病院の近くにある滞在施設『ドナルド・マクドナルド・ハウス』を建設・運営する「公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン」がチャリティ“つなぐ”寄付先団体に加わりました。

同団体は、このたびチャリティパートナーに決定した「日本マクドナルド株式会社」が全国のマクドナルド店内に募金箱を設置するなど全社的に支援している団体です。

『ドナルド・マクドナルド・ハウスの建設と運営事業』への寄付は、2013年9月2日午後2時より受け付けております。

なお、「日本マクドナルド株式会社」は、チャリティパートナーとして、東京マラソン 2014 チャリティ“つなぐ”をサポートし、東京マラソン財団と協働して、ランニングを通じたチャリティ文化の醸成に取り組みます。

【活動内容】

病気と闘う子どもとご家族の滞在施設『ドナルド・マクドナルド・ハウス』の建設と運営事業

【寄付先団体】

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

もしも子どもが病気になったら・・・家族はなにによりもまず、子どもに最善の治療を受けさせよう！と考えるもの。でも、もしその病院が自宅から遠い場所にあったら・・・家族の負担は精神的にも肉体的にも、そして経済的にも大きな負担になってしまいます。『ドナルド・マクドナルド・ハウス』は、病院のすぐ近くにある滞在施設で、家族が病院で看病する傍、自宅と同じ様な生活ができるようにプライバシーが守られるベッドルームのほか、自炊ができるキッチンやリビング、ランドリーなどが備わった大きな家で、寄付とボランティアで運営されています。



【一般の方のお問い合わせ先】

「東京マラソン 2014 チャリティ“つなぐ”」お問い合わせ事務局
TEL : 03-5474-2091 (平日 10 : 00 ~17 : 00)